

## - 1レッスンの展開方法の工夫 -

## 1 課題設定の理由

新学習指導要領で新しく設置される科目「コミュニケーション英語」では、授業において、「英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養う」ことが求められる。しかし、実際の高校の授業においては、教科書の本文の意味を理解させることが授業の主な目的となっている傾向が強く、内容を把握できた段階で指導が完結してしまう場合が多い。また、「適切に伝えたりする基礎的な能力の育成」はあまり行われていない現状がある。そこで本研究では、現在指導している英語において、「相手の考えや情報を理解し、自分の意見を伝える」ことができる力、つまりコミュニケーション能力の伸長を図るためには、どのように一つのレッスンを展開していったらよいかを研究することにした。

## 2 生徒の実態（診断的評価）

生徒の英語学習に対する意識を調査するため5月下旬に、アンケートを実施した。被験者は第2学年の生徒である。アンケートの結果は以下のとおりである。（資料1）

<資料1>

- 問1 あなたは英語が好きですか？（2肢選択）  
 1 好き(21名)      2 嫌い(11名)
- 問2 「聞く」「話す」「読む」「書く」の中で得意なことは何ですか。（4肢選択）  
 1 聞く(4名)      2 話す(2名)      3 読む(12名)      4 書く(14名)
- 問3 「聞く」「話す」「読む」「書く」の中で苦手なことは何ですか。（4肢選択）  
 1 聞く(3名)      2 話す(14名)      3 読む(12名)      4 書く(3名)
- 問4 英語を「聞く」ことに関して、どのようなことができるようになりたいですか。  
 ・外国人が話す英語をしっかりと聞き取れるようになりたい。  
 ・話す相手が何を伝えているのか分かるようになりたい。  
 ・聞いたことを書けたり、意味をちゃんと理解できたりするようになりたい。  
 ・聞いたことを理解して話せるようになりたい。      （多いものを抜粋）
- 問5 英語を「話す」ことに関して、どのようなことができるようになりたいですか。  
 ・英語を使って、自分の意見をはっきり言えるようにしたい。  
 ・できるだけ英語っぽく（発音をきれいに）話したい。  
 ・相手に自分の気持ちを伝えられるようになりたい。  
 ・自分の思っていることをぱっと言えるようになりたい。      （多いものを抜粋）
- 問6 英語を「読む」ことに関して、どのようなことができるようになりたいですか。  
 ・すらすらと読めるようになりたい。  
 ・長い物語が読めるようになりたい。  
 ・英語の本を読んで、理解できるようになりたい。  
 ・書いている人が言いたいことを読み取りたい。      （多いものを抜粋）
- 問7 英語を「書く」ことに関して、どのようなことができるようになりたいですか。  
 ・いちいち考えなくてもすぐに書けるようになりたい。  
 ・スペルとか文法とか間違えないで書けるようにしたい。  
 ・自分の考えを正確に英語で書けるようになりたい。      （多いものを抜粋）

アンケートの結果から、生徒は4技能のうち、特に「話すこと」に対して苦手意識をもっていることが分かる。また、4技能のうち、「聞くこと」「読むこと」については、相手が言っていることを聞き取りたい、読み取りたい、「話すこと」「書くこと」に関しては、自分が伝えたいことを相手に正確に伝えられるようになりたい、自分の考えや気持ちを英語で表せるようになりたい、などの願望をもっていることが分かる。これらはコミュニケーションを図る際に非常に大切な要素になる。

さらに、研究の事前テストとしてリスニングテスト（英検準2級リスニング問題）とスピーキングテスト（ALTとのインタビュー形式のテスト）を実施した。

### 3 本研究の流れとねらい

本研究は、以下の流れで実施した。

5月下旬	事前アンケート、事前テストを実施する。
6月～7月中旬	Lesson 2, 3の授業を実施する。
8月	Lesson 2, 3の授業方法や効果を考察し、改善点を明確にする。
9月	Lesson 4の授業を実施する。
10月	事後アンケート、事後テストを実施し、1つのレッスンの授業の展開の方法を考察する。

本研究は、次の三つのねらいを設定した。

- |   |
|---|
| <b>ねらい1：英語を用いた授業展開を心がける</b><br><b>ねらい2：生徒が考える、創造力を引き出すコミュニケーション活動を行う</b><br><b>ねらい3：ペアワーク、グループワークを取り入れる</b> |
|---|

授業の流れは、「導入 展開 まとめ」であるが、どの指導段階においても上記の三つのねらいに基づいた言語活動を行った。

### 4 実践内容（1） - Lesson 2 の授業の実践 -

以下は、Lesson 2 *Tofu Dishes in the U.S.* (Surfing、文英堂)の本文（資料2）と到達目標である。あるアメリカ人女性が初めて豆腐を食べた時の体験と、L.A.で毎年行われるTofu Festivalについて述べた英文である。

<資料2> 教科書 本文

Part 1

I remember the day when I first ate tofu. I found that it didn't have much flavor, so I put some salad dressing on it. But I soon got used to the taste of plain tofu. Now tofu burgers are my favorite food. Today more and more Americans are eating tofu. They know that eating tofu helps them stay slim and healthy.

Part 2

Every year, the L.A. Tofu Festival is held in Little Tokyo. It is an area where many Japanese-Americans live. I went to this festival last year. Thousands of people were enjoying various kinds of tofu dishes there. In the afternoon, there was a tofu-eating contest. However, I was too full by then to take part in that.

## 到達目標

教科書に出てきた新出単語や本文の内容を別の英語で言い換えたものを聞き、内容を理解することができる。

教科書で学習した内容について、口頭で要約することができる。

教科書で学習した文法事項、関係副詞 when、where を使って話したり、書いたりすることができる。

世界で、日本の食べ物がどのように紹介されているかについて理解することができる。

## (1) 導入

ワークシート(資料3)を用いての導入

<ワークシートの使用方法>

- 1 「豆腐」について生徒が知っていることをブレインストーミングの形で挙げさせる。
- 2 「3」で使用する表現を和文英訳の形式で練習させる。
- 3 「2」の表現を用いて、ペアで会話練習させる。空所に英文は書かせずに口頭で練習させる。
- 4 「3」で相手が発話した内容を英語で書かせる。



## <資料3>

(English Worksheet No.7)

Let's talk about Tofu!

STEP 1 Write down some keywords related to Tofu

STEP 2 Let's talk about Tofu with your partner.<Before you start talking>  
Useful expressions:

①圭明は、〇〇で豆腐を食べるのが好きだ。  
(Keiji likes eating Tofu in ( ) )  
②きみはどお? (How about you? )  
③もめんと絹のどちらを普通食べてる?  
(Which do you usually eat "Momen" or "Kinu"?)  
④ところで ( By the way )

STEP 3 Let's talk about Tofu with your partner.  
A: Do you like Tofu?  
B: ( ). I often eat Tofu in ( ).  
あなたはどお? Do you like Tofu?  
A: ( ). By the way, もめんと絹のどちらを食べている?  
B: ( ). あなたはどお?  
A: ( ).

STEP 4 Write down what your friend spoke.  
友達が発話したことからわかったことを英文にしよう。

"Yuka and Tofu"  
I'm going to talk about Yuka and Tofu Yuka likes eating Tofu in miso-soup.  
She also likes eating Kinu tofu.

## (2) 展開

### (ア) 新出単語の確認

新出単語の意味を日本語で確認させた。

教師が他の英語で単語を説明し、生徒はそれを聞いてどの単語の意味を言っているのかをペアで考えさせた。例えば、教師が、a thin sauce used to add flavor to salads と説明する場合、dressing と答えることができたなら着席させる。

### (イ) 本文の内容の確認

英語で質問を提示した。

Part 1 の場合 - Question 1: What did the writer put when she first ate tofu?

Question 2: What are the writer's favorite food?

教科書を閉じさせ、絵や実際の豆腐を提示しながら簡単な英語で Oral Introduction を行った。生徒には で提示した質問の答えを探しながら英語を聞かせた。

ペアで、質問の答えを確認しあわせた。

教科書を開き、英文を読み、自分が書いた答えが正しいかを各自で確認させた。

(ウ)音読

音読の目的を明確にしながら、コーラスリーディング、オーバーラッピング、シャドーイング、リードアンドルックアップと少しずつ難しい読み方に挑戦させた。また、個人読みだけでなく、ペアで読みあうことを必ず取り入れた。

(3)まとめ

(ア)ワークシート(資料4)を使用したストーリーリプロダクション

生徒には絵やキーワードを頼りに、教科書を見ないで本文の内容を口頭で再生させた。練習はペアで行わせた。

<ワークシートの使用方法>

- 1 教科書を閉じさせる。教師が読む英語をディクテーションの空所に書き入れさせる。
- 2 <Dictation>の部分を折らせ、絵だけを見て、教師の後について英文を言わせる。生徒が発話するのは<Dictation>の部分で、生徒が空所に補充した英語を含むようにする。
- 3 ペアワークをさせる。一人の生徒は絵の部分だけを見て英文を言い、もう一人の生徒は<Dictation>のほうを見て発話される英文を確認する。

<資料4>

Lesson 2 Part 1

Dictation

I remember the day ( ) I ( ) ate tofu. I ( ) that it didn't have much ( ), so I ( ) some salad dressing ( ) it. But I soon got ( X ) the taste of ( ) tofu.

<資料5>

(イ)文法事項の定着を図るためのコミュニケーション活動

関係詞 where の定着を図るために、ワークシート(資料5)を用いたコミュニケーション活動を行った。

<ワークシートの使用方法>

- 1 ランダムにペアを組ませる(生徒に数字を書いたカードを配り、生徒は同じ数字を持っている相手を探し、ペアを組む)。
- 2 まず、1~6の質問に対する自分の答えを書かせる。その後、その質問をペアで尋ね合わせ、相手の答えを余白にメモさせる。
- 3 相手が言った答えを基に英文でまとめさせる。

(English Worksheet No.8)

Tell me about...

STEP 1 Walk around the class, and find your partners.

STEP 2 Practices the dialogue in pairs.

Example:  
A: Tell me the place where it is comfortable for you.  
B: It's in ( my room ).

1. Tell me the country where you like to live	America	America
2. Tell me the place in Japan where you want to live	Hokkaido	kanagawa
3. Tell me the place where it is comfortable for you	Michino Station	my room
4. Tell me the place where it is convenient for you.	Seven-eleven	Seven-eleven
5. Tell me the shop where you often go	Seven-eleven	book store
6. Tell me the place where you watch TV	Living room	Living room

STEP 3 Write down what your partners say

I'm going to tell you the place where it is comfortable for  
It is in the Michino station. Natsushima kobei

Wow!!

STEP 4 Present the sentences to the class.

4 できあがった英文をクラスの前で発表させる。

## 5 実践内容(1)の考察

### (1)「導入」について

今回の導入のねらいは、生徒の経験や知識とレッスンの主題(今回は豆腐)とを関連付けることで、教材をより身近なものとしてとらえさせることである。ブレインストーミングは今回初めて取り入れたが、生徒は意欲的に取り組み、様々なアイデアが出てきた。従来は、導入段階では本文の内容の要約を口頭で示して生徒に聞かせるというような指導をすることが多かった。従来の導入方法よりも、今回の導入方法はテキストを読もうという雰囲気を作り出せた。

### (2)「展開」について

新出単語の確認は、これまでは日本語での意味の確認のみだったが、今回初めて英単語の意味を英語で理解させる活動を取り入れた。生徒は、教師の発話する英語を注意深く聞き、どの単語の意味を説明しているのかを積極的に答えることができた。終了後、生徒に感想を聞いたところ、「楽しかった。」という意見が多かった。

また、Oral Introductionに関しては、生徒から「分かりやすかった。」という感想が多数聞かれた。特に、豆腐に醤油ではなくサラダドレッシングをかけて食べたという場面を実演したところ、「えっ、サラダドレッシングかけちゃうの?ありえない。」などという声が挙がった。生徒の興味を引くことができ、その後の Questions and Answers もスムーズに進めることができた。実物や写真などを提示すると、生徒の意欲を高めることができることを実感した。

### (3)「まとめ」について

関係詞 where が「意識しなくても読めている、聞けている、言えている、書けている」という状況を設定するためのコミュニケーション活動を取り入れた。生徒は、質問文の意味を理解しなければならない。また、それを友達に言ったり、逆に聞き取ったりする必要があり、また where を使った英文を書くことが課されている。4技能の統合を図る活動として効果的であった。

### (4) 改善すべき点

#### (ア) 新出単語の確認

教師が英単語の意味を他の英語で説明するのを聞き、どの単語かを当てるゲームでは、ペアで答えることができれば着席することができたため、一度答えて着席してしまうと緊張感を保つことが難しかった。そのため、全員の生徒が緊張感をもって考えたり、答えたりするような活動の工夫が必要である。

#### (イ) 本文の内容の確認

本単元では、「英語での質問を二つ提示 教師による Oral introduction を聞きながら質問の答えを探す 教科書を読みながら質問の答えを再確認する」という指導手順だった。 と はリスニングとリーディングという活動の違いはあるものの、質問内容は同一のため、 で既に答えを探すことができている生徒にとっては、 の活動はあまり意味のないものになってしまった。

#### (ウ) まとめ活動

今回は、文法事項の定着を図るためのコミュニケーション活動を行った。文法と言語活動を一体化した指導としては効果があった。しかし、まとめ活動としては、本文の内容を基にした発展的な活動や生徒同士の意見を伝え合う活動を取り入れることも必要ではないかと感じた。

(エ) その他

生徒が授業に自発的に参加したり、学習内容がどの程度理解できたかなどを確認したりするために、生徒自身にその日に学習したことが身に付いたかどうかを自己評価させる必要性を感じた。そのためには、活動ごとの目的や到達目標などを生徒に明示することが重要であると考えた。

## 6 実践内容(2) - Lesson 4 の授業の実践 -

前ページ5で述べたような改善点を踏まえ、Lesson 4 を指導した。以下は Lesson 4 *My life in Japan* (Surfing、文英堂)の本文(資料6)と到達目標である。内容は、インドからの留学生、カシシ君が日本で体験したり感じたりしたことについて述べたものである。

### <資料6> 教科書 本文

#### Part1

Many Indians know that Japan is a high-tech country. After two years in Japan, I have learned that Japan is an old, traditional country as well. I belong to the tea ceremony club. At a charity party last Sunday, I wore kimono and made tea. Although the ceremony is difficult to learn, I love the simple and elegant style of the tea ceremony.

#### Part2

India may remind you of curry dishes. Indian curry is different from Japanese curry. Indian curry is very hot. At the school festival, I made Indian curry. I had difficulty getting the spices to cook it with. My curry was very popular with Japanese students. I have gotten used to Japanese dishes. My mother's dishes may be too hot for me now.

#### Part3

When I started to learn Japanese, I thought, "Why do I have to use kanji?" It seemed that hiragana was good enough to express everything, but I came to love using kanji. My favorite kanji is oya (parent). It consists of three parts which mean "stand," "tree," and "watch." This kanji reminds me of my parents, who are watching over me from India. How heartwarming this kanji is!

### 到達目標

教科書に出てきた新出単語や、本文の内容を別の英語で言いかえたものを読んだり、聞いたりして、意味を理解することができる。

教科書で学習した内容について、口頭で要約することができる。

教科書の話題について、自分の考えを伝えたり相手の意見を理解したりできる。

日本の文化や習慣に関する自国理解を深める。また、世界ではいろいろな言語が話され、様々な生活様式があることを理解することができる。

### 指導過程

時数	指導内容
1	1. レッソンの導入：Brainstorming 2. 新出単語の意味確認 (Part1 の新出単語、表現の意味を英語で確認する)
2	1. Part 1 の概要をつかむ：Outlining( 教師の Oral Introduction をメモを取りながら聞く ) 2. Part 1 の本文 ( CD ) を聞く 3. Part 1 の本文を読む：Reading Comprehension ( 質問の答えを探しながら読む ) 4. 音読：Repeating, Shadowing

3	1. Warm-up : Chatting, Reading practice 2. 口頭要約 : Story reproduction (教科書の内容を口頭で再生する) 3. ディスカッション : Discussion on a question related to the topic of Part 1
4	1. Warm-up : Chatting, Reading practice 2. 新出単語の意味確認 3. Part 2 の概要をつかむ : Outlining 4. Part 2 の本文 (CD) を聞く 5. Part 2 の本文を読む : Reading comprehension 6. 音読 : Repeating, Shadowing
5	1. Warm-up : Chatting, Reading practice 2. 要約 : Summary of the text filling in the blanks 3. ロールプレイ
6	1. Warm-up : Chatting, Reading Practice 2. Part 3 の概要をつかむ : Outlining 3. Part 3 の本文 (CD) を聞く 4. Part 3 の本文を読む : Reading comprehension 5. 音読 : Repeating, Shadowing
7	1. Warm-up : Chatting, Reading practice 2. 口頭要約 : Story reproduction 3. レッソンの復習

### (1) 導入

ワークシート (資料7) を用いての導入

<ワークシートの使用方法>

- 1 ペアで、将来行きたい国について話し合わせる。その際、I want to visit . で終わるのではなく、because で文をつなぎ、理由も述べさせる。
- 2 相手が言った内容を、英語で表現させる。
- 3 インドに関連する写真を見せ、何に関する写真であるかを考えさせ、英語で書かせる。
- 4 チャイ (インドの紅茶) の作り方を示す4つの英文を提示し、適切な順番に英文を並べ替えさせる。

このレッスンでは全てのワークシートに、<授業を振り返ろう> という欄を設けた。授業の最初にその授業の目標を明示し、生徒自身にその目標を達成できたかどうかを自己評価させた。

### <資料7>


**My Life in Japan①**


**STEP 1** Talk about the following topic with your partner.  
 "Which country do you want to visit in the future?"  
 Example:  
 A: Which country do you want to visit in the future?  
 B: I want to visit HAWAII because the sea is beautiful.


**STEP 2** Write down what your friend spoke.


She wants to visit Italy because  
 she thinks that their food are delicious.

**STEP 3** Guess what these pictures are about.

  
grave


  
shoe

  
movie theater

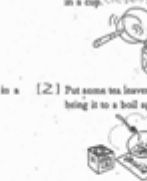
  
Bollywood

**STEP 4** Consider the order of these pictures.

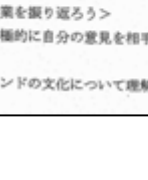
(1) Put some spices and water in a pan and bring it to a boil.



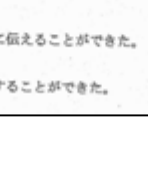
(2) Put some tea leaves in the pan and bring it to a boil again.



(3) Add some milk and sugar, and turn the gas down.



(4) Strain it for a while and serve it in a cup.



<授業を振り返ろう>

- ・積極的に自分の意見を相手に伝えることができた。
- ・インドの文化について理解することができた。

< 資料 8 >

(2) 展開

(ア) ワークシート(資料8)を用いた新出単語の確認

本文を読む前に、新出単語の意味を英語で確認する作業をした。活動後にワークシートを回収し、生徒の自己評価を集計したところほとんどの生徒が、英語で新出単語の意味を理解できていた。

< ワークシートの使用方法 >

- 1 ワークシートを配布する。新出単語とそれらを既習の英単語や簡単な英文で言い換えたものをマッチングさせる。日本語の意味は提示する。
- 2 「1」とは逆にし、簡単な英文を提示し、それが表す英単語を選ばせる。日本語は提示しない。

(イ) 本文の内容確認

本文の内容確認は二回に分けて行った。一回目は、教師が簡単な英語で教科書の内容を説明し、生徒にはそれを聞きながらノートにメモをとらせた。二回目は教科書を開き、教師が提示する三つの質問

- Question1: How long has Kashishi lived in Japan?  
 Question2: What club did he belong to?  
 Question3: What feature of the tea ceremony does Kashishi love?

の答えを探しながら読ませた。

資料9は生徒のノートの一例である。ノートの右ページの上が の時に生徒がとったメモである。右ページの下が の質問に対する答えが書かれている。和訳をして理解するのではなく、英語で内容理解を図っていることがノートからも読み取れる。

< 資料 9 >

(Lesson4-2) My life in Japan②

STEP 1 Check the meanings of new words in **Before you read** both in Japanese and English. Match these words for English sentences.

Taj Mahal (タージ・マハル) — a temple in northern India built by the emperor Shah Japan in memory of his favorite wife  
 temple (寺院) — a person from India  
 form (種類・形態) — powder used in cooking  
 entertainment (娯楽) — to cook something by keeping it almost at boiling point  
 spice (香辛料) — a building used for the worship of a god or gods  
 pan (なべ) — a container used for cooking food in  
 simmer (とろとろ煮る) — a type or variety of something  
 Indian (インドの、インド人の、インド人) — films, movies, and music used to entertain people

STEP2 Check the meanings of new words in **Part1** in English. Match English sentences for English words.

To have something on your body — although  
 Attractive and showing a good sense of style — elegant  
 Used to mean "but" or "however" — ceremony  
 wear

< 授業を振り返ろう >  
 ・英語で新出単語の意味を理解できた。

Class Number Name

LESSON4-1

Many Indians know that Japan is a high-tech country. After two years in Japan, Kashishi has lived in Japan for two years. I have learned that Japan is an old traditional country as well.

I belong to the tea ceremony club.

At a charity party last Sunday, I wore kimono and made tea. Although the ceremony is difficult to learn, I love the simple and elegant style of the tea ceremony.

Before you read  
 \* Taj Mahal: タージ・マハル  
 \* temple: 寺院  
 \* form: 種類  
 \* entertainment: 娯楽  
 \* spice: 香辛料  
 \* pan: パン  
 \* simmer: とろとろ煮る  
 \* Indian: インドの、インド人の、インド人

New words  
 \* high-tech: ハイテック  
 \* belong to: 所属する  
 \* ceremony: 儀式  
 \* charity: 慈善  
 \* although: けれども  
 \* simple: 簡単な、単純な  
 \* elegant: 優雅な  
 \* style: 形式  
 \* as well: そのうえ  
 \* belong to: 所属する  
 \* made tea: 茶をいれた

< Part 1 >  
 take notes and draw pictures  
 Kashishi - an Indian.  
 Japan - high-tech country + an old traditional country  
 Kashishi - Ken He wore Kimono  
 the tea ceremony club simple and elegant  
 Loves made tea

Questions  
 1. How long has Kashishi lived in Japan?  
 - He has lived in Japan for two years.  
 2. What club did he belong to?  
 - He belonged to the tea ceremony club.  
 3. What feature of tea ceremony does Kashishi love?  
 - He loves the simple and elegant style of the tea ceremony.

NOTICE  
 The tea ceremony is difficult to learn.  
 It is difficult to learn the tea ceremony.



(ウ) 音読

Lesson 2 同様、様々な音読の方法を取り入れ、個人やペアで練習をさせた。(練習方法の詳細は Lesson 2 の箇所を参照)

(3) まとめ

(ア) ワークシート(資料 10)を使用したストーリーリプロダクション

Lesson2 と同様にストーリーリプロダクションを実施した。生徒は絵やキーワードを頼りに、教科書を見ないで本文の内容を口頭で再生した。練習はペアで行わせた。

<ワークシートの使用方法>

- 1 教科書を閉じさせる。教師が読む英語をディクテーションの空所に書き入れさせる。
- 2 < Dictation > の部分を折らせ、絵だけを見て、教師の後について英文を言わせる。生徒が発話するのは < Dictation > の部分で、生徒が空所に補充した英語を含むようにする。
- 3 ペアワークをさせる。一人の生徒は絵の部分だけを見て英文を言い、もう一人の生徒は < Dictation > のほうを見て発話される英文を確認する。

<資料 10>

Lesson 4 Part 4

I (     X     ) the tea (             ) club. Last Sunday, I (             ) kimono and (             ) tea. (             ) the ceremony is difficult to (             ), I love the (             ) and (             ) style of the tea ceremony.

(イ) レッソンのまとめとしてのコミュニケーション活動

コミュニケーション活動は二種類実施した。

本文の内容に関するディスカッション

実施手順

- (1) 4人ずつのグループに分ける。
- (2) Japan is a high-tech country. After two years in Japan, I have learned that Japan is an old, traditional country as well." に基づき、日本は high-tech country か old, traditional country かについて考えさせた。



どちらの意見に賛成するのか、またその理由は何か、をグループごとに英語でワークシートに書かせた。資料 11 は賛成としたグループが作成したもの、資料 12 は反対としたグループが作成したものである。

<資料 11>

(Lesson4-③) **My Life in Japan③**

**STEP1** Do you think Japan is a high-tech country? **Yes or No?**  
Some students will think it's a high-tech country, but others may think it's an old, traditional country rather than a high-tech country.  
**Why?**

**A: Japan is a high-tech country because . . .**

It has many trains and cars.  
Many people have cell phones.  
We make robots for the future.  
Medicine has advanced.  
We can borrow CDs and DVDs easily.  
We can do many things using Internet.

**B: Japan is an old, traditional country because . . .**

**STEP2** Discuss which side you agree with.  
I think Japan is \_\_\_\_\_ rather than \_\_\_\_\_

<授業を振り返ろう>  
・積極的に自分の意見や考えを表現できた。 ◎ ○ △ ×  
・日本についてどんな国か考えることができた。 ◎ ○ △ ×

Class \_\_\_\_\_ Number \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

<資料 12>

(Lesson4-③) **My Life in Japan③**

**STEP1** Do you think Japan is a high-tech country? **Yes or No?**  
Some students will think it's a high-tech country, but others may think it's an old, traditional country rather than a high-tech country.  
**Why?**

**A: Japan is a high-tech country because . . .**

**B: Japan is an old, traditional country because . . .**

It has many temples. It has great image as Buddha.  
We have Yamato spirits. It has kimono.  
It has many festivals. It has green tea.  
It has kabuki. It has Mt. Fuji.  
It has Noh. It has pottery.  
It has kana.

**STEP2** Discuss which side you agree with.  
I think Japan is \_\_\_\_\_ rather than \_\_\_\_\_

<授業を振り返ろう>  
・積極的に自分の意見や考えを表現できた。 ◎ ○ △ ×  
・日本についてどんな国か考えることができた。 ◎ ○ △ ×

Class \_\_\_\_\_ Number \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

(3) 教師が各グループから出てきた意見をまとめ、次の授業で提示し、ワークシート(資料 13、14)を用いて次のように指導した。

<ワークシートの使用方法>

- 1 日本が high-tech country か old, traditional country について生徒の意見をまとめたもの(資料 13)を読ませ、「これはすごい!よく気がついたなあ」という意見には、「これは納得」には、「これは違うのではないか?」には をつけさせる。
- 2 や の数を数えさせ、最終的に自分がどちらの意見に賛成するかを生徒に決めさせ、英語でワークシート(資料 14)に記入させた。理由を英語で書くことが難しい生徒がいるので、英語を書くことよりも自分の意見を書くことの方を優先させ、日本語を用いてもよいことにする。
- 3 ALT に意見を聞き、それをワークシートに載せておき、生徒たちに読ませる。

< 資料 13 >

[Lesson4-③のまとめ] **My Life in Japan③**

**STEP1** Do you think Japan is a high-tech country? **Yes or No?**  
Some students will think it's a high-tech country, but others may think it's an old, traditional country rather than a high-tech country.

**A: Japan is a high-tech country because...**

- it has advanced technology.
- ② Tokyo is one of the most famous cities in the world.
- ① Japanese are able to receive medical treatment.
  - Japanese have their own cell phone.
  - It has tall buildings (skyscrapers).
  - Japanese often use computers.
- ③ it has companion robots.
- there are water services in many places in Japan.
- ④ its toilet sheets are warm and comfortable.
- ⑤ Japanese TV system has changed into ground controlled one.
  - It has high-speed trains and cars.
  - its health-care industry is advanced.
  - Japanese can borrow CDs and DVDs easily.
  - It has very advanced machines.
- ⑦ Japanese is very smart.
- its science and technology is very advanced.
- ⑥ It opens various places of amusement.

**B: Japan is an old, traditional country because...**

- it has old temples such as Kinkakuji, Ginkakuji and Todaiji.
- it has hot springs like Kinugawa.
- it has cultural heritages.
- ⑧ it has been keeping Japanese culture like tea ceremony.
- ④ Japanese still keep the Japanese spirit.
  - it has many festivals.
  - it has classical entertainments such as Kabuki and Noh.
  - it has potteries such as Mashiko-yaki.
- ⑤ Japanese are sometimes influenced by Buddhism.
  - Japanese wear Japanese clothing such as kimono.
  - it has Mt. Fuji. it has the Japanese phonetic alphabet like Kana.
  - it has old musical instruments, for example wadaiko.
  - it has a national sport and martial arts such as sumo and judo.
  - it has a traditional art, for example calligraphy.

< 資料 14 >

**STEP2** Discuss which side you agree with.  
I think Japan is a high-tech country rather than an old, traditional country.  
理由は何ですか? むい

日本の医療技術とか、確かに言われてみれば、そうだなと思う意見が多くあるから。

**STEP3** Just for your information, here are opinions of Allen sensei. Please read them.

**A: Japan is a high-tech country because...**

- it has very advanced cell-phone technology.
- it has high-speed trains.
- it has many advanced technology companies such as Sony and Mitsubishi.
- Japanese have their own cell phone.
- It is famous for its scientific discoveries.

**B: Japan is an old, traditional country because...**

- it has many old buildings and temples.
- it has a very old, very traditional culture.
- it still has many small farms and small villages.
- it has a strong sense of what it means to be "Japanese."

<授業を振り返ろう>

- 積極的に自分の意見や考えを表現できた。
- 日本についてどんな国か考えることができた。
- 友達の良い意見を批判的に読むことができた。

•その他自由にこの活動に対する意見を書いて下さい。

改めて日本の文化や技術について考えてみたら、意外と考えがまとまらなくて難しかった。

Class \_\_\_\_\_ Number \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

ワークシートを使用しての本文の要約

<ワークシートの使用方法>

- 1 ワークシート(資料15)を配布する。
- 2 ペア活動で本文を要約する。

ブランクを埋めながら、教科書の内容の要約を完成させる。生徒のオリジナリティを發揮させるために、教科書には書かれていない内容で、生徒が自分の考えを記入する空所を、一カ所作しておく。完成したダイアログを、ペアで練習する。相手の目を見たり、感情を込めたりして、「会話である」ことを意識させる。

< 資料 15 >

[Lesson4-⑤]

**My Life in Japan⑤**

**STEP 1** Read the following dialogue and fill in the blanks

Interviewer: It's a great pleasure to welcome to Mibu High School Live. Hello, Kakashi.

Kashishi: Hello. Thank you for inviting me today.

Interviewer: I hear that you are from India. Is it true that Indian curry is hotter than Japanese Japanese curry?

Kashishi: Yes, it is. Indian curry is very hot. At the school festival, I made Indian curry. I found it difficult to get the spices to cook it with. My curry is very popular with Japanese students.

Interviewer: Oh, I see. I wanted to try your curry. By the way, do you usually eat Japanese food?

Kashishi: Yes, I am. These days (最近) I gotten used to Japanese dishes. My mother's dishes may be too hot for me now.

Interviewer: What is your favorite Japanese food?

Kashishi: It is Tempura.

Interviewer: What's your favorite tempura?

Kashishi: It's shiratake.

**STEP 2** Practice reading out your dialogue, putting feeling into it, and making eye contact.

<授業を振り返ろう>

- 教科書の内容の要約(会話という形)ができた。

Class \_\_\_\_\_ Number \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## 7 実践内容（２）の検証と考察

ここでは、生徒が Lesson 4 の授業を受けた直後に行ったアンケートを基に、それぞれの活動について検証し、考察する。

### （１）単語の意味を英語で言いかえたものを読み、理解することができたか。（図１）

この項目については、87 パーセントの生徒が「理解することができた。」と回答している。自由記述には、「単に日本語で意味を確認するより、おもしろい。」「新出単語以外の単語も覚えらる。」という回答があった。

### （２）教科書の本文の内容を英語で言いかえたものを聞き、理解することができたか。（図２）

この項目では、本文の内容を簡単な英語で説明する活動(Oral Introduction)についての質問に、約 90 パーセントの生徒が「理解することができた。」と回答している。多くの生徒が、「英文だけを見ると分かりにくいけど、絵を使った説明は分かりやすい。」と回答した。

図 1

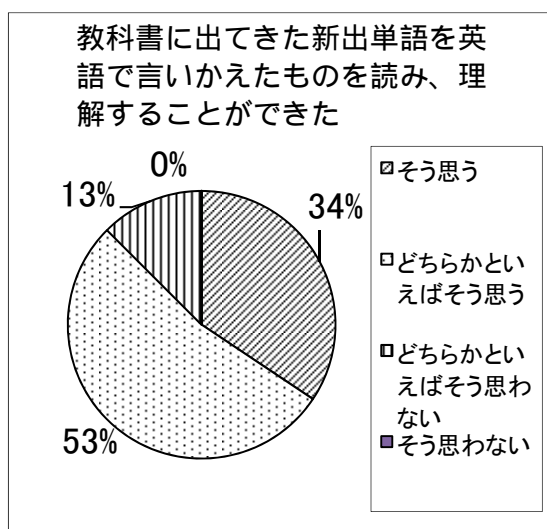
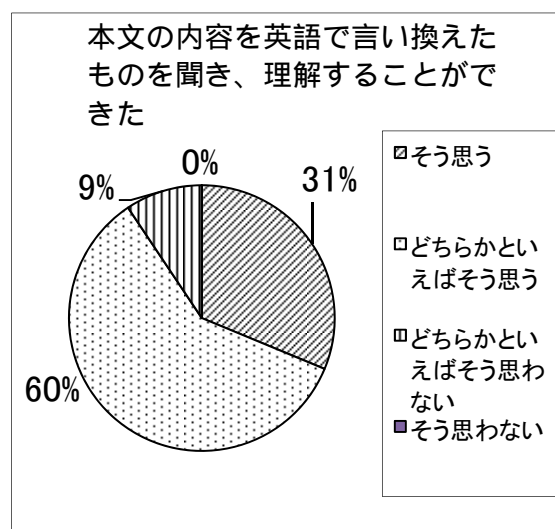


図 2



### （３）教科書で学習した内容について、口頭で要約することができたか。（図３）

この項目では、本文の音読が終了した後にストリープロダクションについて質問した。(1)(2)の2つの活動と比較するとやや難しい活動であったが、「要約できた。」と回答している生徒の割合は約 70 パーセントであった。自由記述では、生徒は「これで、教科書のほとんどの表現が頭に入って使えるようになった。」と述べており、活動は有効であった。

### （４）教科書の話題について自分たちの意見や考えを話し合えたか。（図４）

この項目では、主に Part 1 で行ったディスカッションの活動について質問した。言語活動としては難易度の高い活動であるが、約 6 割の生徒が自分の考えを伝えることができたアンケートで回答していた。自由記述の回答は以下のとおりである。

- ・グループに分かれて活動したり、意見を出し合ったりするのが楽しかった。
- ・日本のことを英文にして説明するのが意外と大変だった。
- ・改めて日本のことをきちんと考えられたのでよかった。
- ・2つの意見を比べるのはおもしろいと思った。
- ・英文を考えるのが難しかったけど、楽しかった。
- ・考える力がつきそう。
- ・他の人たちの意見を聞くと、よく考えてあると思った。とても参考になった。

生徒は、単なる言語材料の練習ではなく、創造性や思考力を求められる課題に意欲的に取り組んでいることが分かる。そして、生徒同士がお互いに書いた英文を読み合い、新しい視点を発見することによって、物事を多角的に捉えることができるようになるのではないかと考える。

図 3

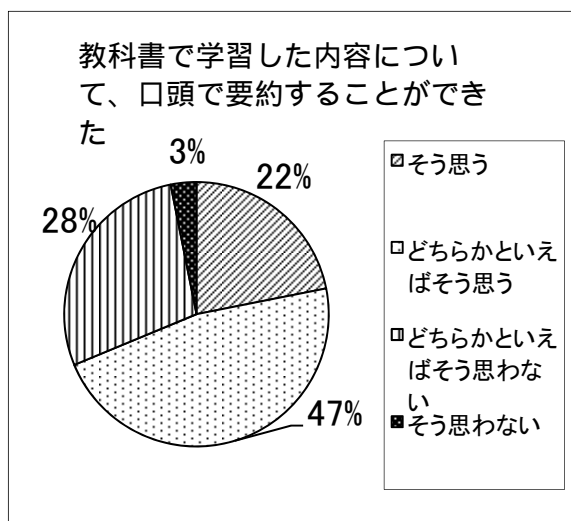
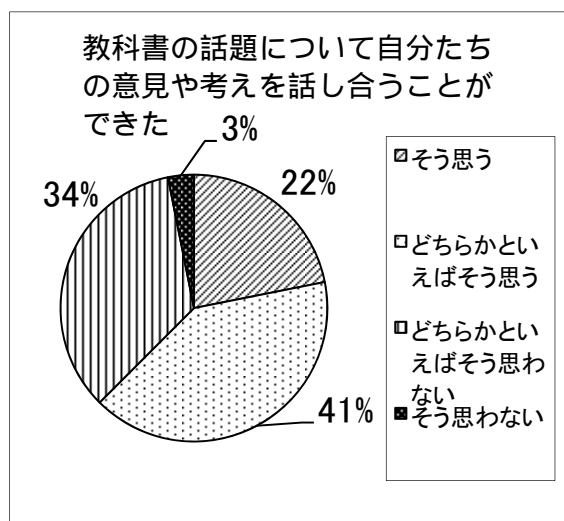


図 4



## 8 検証とまとめ

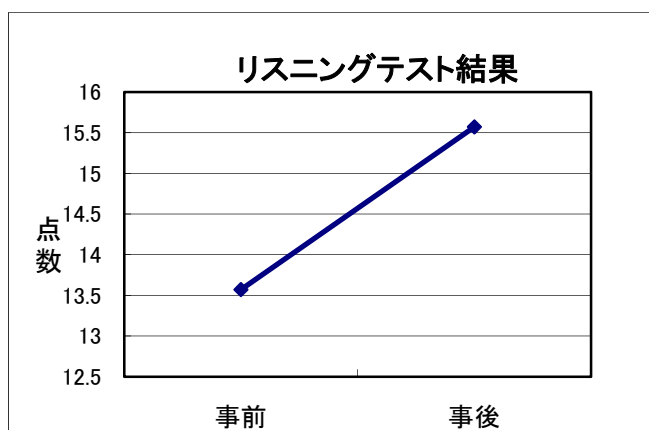
### (1) 事後テストによる検証

10月中旬に事後テストを実施した。内容は、5月下旬に実施した事前テストと同様に、英検準2級程度のリスニングテストと、スピーキングテストである。二つのテストの点数やパフォーマンスの違いを比較した。

#### リスニングテスト

リスニングテストに関しては、事前テストと問題は同じものではないが、同程度のもので30点満点のテストである。図5は事前テストと事後テストの点数の伸びを比較したものである。事前テストの平均は、13.57点であったが、事後テストの平均は15.57点に上昇した。事前と事後の平均値に差があるかをt検定(統計)で検定したところ、両者には有意な差があった。そのため、リスニング力が向上したことが証明された ( $t(28)=3.00, p<.005$ )。

図 5



#### スピーキングテスト

このテストは、生徒がALTと3分間自由に会話をするというものである。2名のスピーキングテストを例として、どのようにパフォーマンスが変化したかを検証した。方法としては、事前テ

ストと事後テストを録画し、その分析を基に検証した。結果としては、2名とも事前テストより事後テストの方が、積極的に会話を続けようとする姿勢が見られた。また、事前テストでは、生徒がALTに質問する ALTが答える 生徒がALTにまた新たな質問をする ALTが答える、というように、話題のつながりがなく、情報伝達が一方的な会話になっていたが、事後テストでは、生徒とALTが一つ的话题を深めながら会話をしていた。さらに、事前テストでは、ALTが言っていることを聞き取れず、質問の内容と全く違う返答をしてしまっている場面があったが、事後テストではそのような場面はなくなった。以下は、そのうちの1名の事前テストと事後テストの SCRIPTである。

ALT = T、生徒 = S 文法的な間違いもそのまま記載

#### 事前テスト

S: What do you like sport?

T: What sport do I like? I love Soccer. I will play soccer on Saturday and Sunday this weekend in Nagano.

S: Oh, me too.

T: You too? In Nagano? You will play soccer on Saturday and Sunday?

S: I watching soccer.

T: You like watching soccer? Do you play soccer?

S: …(沈黙)

T: What sport do you play?

S: I play volleyball junior high school times.

T: OK, in junior high school you were playing volleyball. Do you play any sports?

S: No.

T: No? But you like watching soccer.

S: Yes. What kind of Japanese food do you like?

T: Oh, many kinds of Japanese food, but I think my favorite food are sushi and tempura.

S: Oh.

T: Do you like sushi and tempura?

S: Yes.

T: What's your favorite?

S: Sushi is salmon and also maguro.

T: Tuna? Great. Very delicious. What's your favorite tempura?

S: Kakiage.

T: Maybe I think that is… I forgot the English name.

S: Many vegetable.

T: I know. Me too. I like vegetables.

S: Have you ever been to Tokyo Disney Land?

T: No, I've never been to any Disney resorts.

S: Oh.

T: I want to go. My friends tell me you should go to Tokyo Disney, you should go to Tokyo Disney Sea.

#### 事後テスト

S: What did you do last weekend?

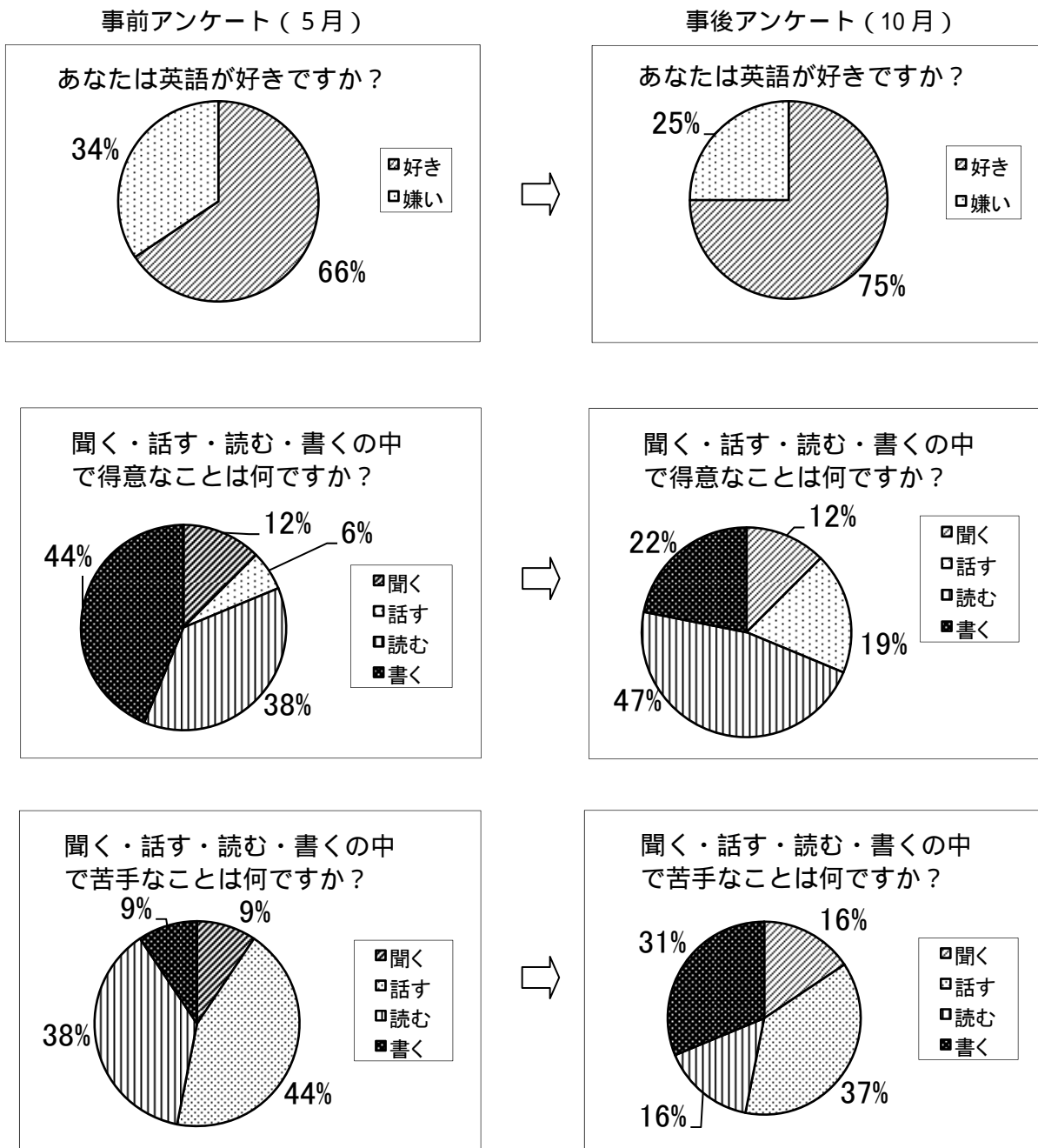
T: Last weekend? I took a test.

S: Test?  
T: Yes. I want to go to Law school, so I had an entrance exam in Tokyo, so I'm very sleepy. What did you do last weekend?  
S: I went to high school festival.  
T: Really? Did you have fun?  
S: Yes.  
T: What did you do?  
S: I went to go with my friends. I went with my junior school friends.  
T: How many friends?  
S: Ten, more than.  
T: More than ten?  
S: Yes.  
T: Lots of friends. What school did you go to?  
S: Sakushin Gakuin.  
T: OK, and did you have a good time?  
S: Yes.  
T: So, what are you doing this weekend?  
S: I will study exam.  
T: You have exams?  
S: Yes.  
T: What is your favorite subject?  
S: I like English, but I don't like math.  
T: So you have to study math for your test?  
S: Yes.  
T: I understand.  
S: (話題を変える) I will play, I will form a band with my friends.  
T: Really? What will you play? What instrument?  
S: I play the drum.  
T: Drums! Very cool. What kind of music do you play?  
S: Many, but J-pops and jazz.

## (2) アンケートによる検証

5月下旬に実施したアンケートと10月中旬のアンケートを比較した。図6の左が事前アンケート、右が事後アンケートの結果である。英語が好き、という生徒は10%増加した。そして、英語の4技能の中で好きな技能として、「話すこと」が増加した。これは、授業の中で自分が言いたいことを伝える、という活動を少しずつ取り入れたことによるものではないかと考えられる。しかし、依然として英語を話すことに苦手意識を感じている生徒はいる。今後、「話すこと」に対する苦手意識を払拭するための指導の工夫改善が課題である。

< 図 6 >



### (3) まとめ

コミュニケーション能力の育成という観点から、約半年間にわたって、英語の教科書の1つのレッスンの展開方法について研究してきた。ねらいは、「英語を用いた授業展開を心がけること、生徒が自ら考え、創造力を引き出すコミュニケーション活動を行うこと、ペアワーク、グループワークを取り入れる」ことである。事後アンケートからも分かるとおり、生徒は英語を話すことにまだ苦手意識をもっているなど課題も多いが、生徒の英語学習に取り組む姿勢は確実に変化しつつある。

高校の英語の授業は、教科書に書かれている英文の意味をただ理解させて終了してしまうことが多いが、それではコミュニケーション能力は養えない。今後は、内容理解にとどまらず、生徒が考え、あらゆる場面で英語を使う活動を授業に取り入れていきたい。